

---

# DODO vol.40

---



---

2024.11~2025.11

---

# 企画経理局 Event planning & Accounting

## 活動方針 Goals

ロドを最高の居心地に。

## 活動方針の背景・振り返り Review

サークルにおいて「楽しさ」や「居心地のよさ」というのは組織のエンジン。また明日も行くと思ってもらえることこそ、各人の志と同じくらいサークルの動力源となる。

そのため、「ロドを最高の居心地に」をテーマに、すべての人が心地よいと感じられるサークルづくりを目指してイベントを企画した。

また、新歓合宿をはじめとする新歓時期の各種イベントの企画にも取り組んだ。

# 1

## 冬合宿2025

#古民家 #榛名湖 #寒い



2025年2月12日~2月14日



群馬県

[背景]

春休みを使って全体の合宿を企画したい

[目的]

年に3度しかない全体合宿で、メンバー全体の仲を深める



[内容]

今年は群馬に行き、みんなで多くの銀色の景色を巡った。宿は古民家で、こたつに入りながらボードゲームをしたりおしゃべりをしたりして過ごした。

# 2

## 新歓BBQ

#新たな出会い #食べて喋る



2025年4月27日



両国BBQ場

[背景]

新入生と現役生が楽しく話せる場が必要

[目的]

新規入会者の獲得

[内容]

新歓生と現役生が集まり、BBQをしながら談笑。新入生にとって同い年の友達がつくれたのと同時に、環境ロドリゲスについて知るいい機会となった。



# 3

## 新歓ハイク

#山 #高みを目指して



2025年5月11日



高尾山

[背景]

新歓生とのレクリエーションが必要

[目的]

新規入会者の獲得

[内容]

新歓生と現役生をミックスした班で、高尾山に登った。日頃運動不足のロドメンにとってはいい体を動かす機会でもあり、新歓生とも仲を深めることができた。



# 4

## 新歓合宿2025

#謎解き #体育祭



2025年6月28日~6月29日



山中湖

### [背景]

新入生の入会が落ち着いたタイミングで合宿を企画し、上級生、同期と仲良くなる機会をつくる必要がある。

### [目的]

27期、28期、29期の仲を深める

### [内容]

一日目ではバスレクとしてクイズ大会、その後忍野八海を舞台に謎解きを行った。夜にはBBQや花火で親睦を深めた。

二日目では体育祭を行った。メンバーからの満足度も高く、素晴らしい合宿となった。



## 28期代の展望 Future Outlook

スローガン：「安全第一！ 全員笑顔！」

安全を最優先に団結し、交流を生み出す場をつくる。誰も置き去りにせず、安心と楽しさを届け、一人ひとりの成長をサークル全体の力へと広げていくことを目指す。

当局は「楽しさの演出」と「資金の管理・運用」という両輪でサークルを支え、より活発な活動を実現する。具体的には、長期休暇に冬合宿や夏イベントを統括し、企画を越えた交流を創出する。これにより環境問題への興味の濃淡に左右されない、サークルとしての「楽しさ」でメンバーをつなぐ。また、予算制をはじめとする新たな仕組みを導入し、各企画におけるお金の使い方への意識を高めるとともに、自由な発想を促し、コンテンツづくりを後押しする。



# 渉外局

## Public Relations

### 活動方針 Goals

- ①環境ロドリゲスが環境イベントを主催する
- ②メンバーがやりたいことを実現させる
- ③メンバーが成長する機会を最大化する

### 活動方針の背景・振り返り Review

- ①背景は、これまでイベントを主催したことがなかったことで、振り返りは、その他の背景含め、有意義なイベントにできたが、さらに工夫できる可能性が残された。
- ②背景は、主体性を重視したいことで、振り返りは、局長からの促しが不足してしまったことである。
- ③背景は、機会や情報に偏りがあることで、振り返りは、それらをメンバーに共有するための環境情報掲示板などを実施できたことである。

## 1 名刺の作成

#名刺 #信頼 #繋がりをその後も

2024年10月

オンライン

[背景]  
役職者などが、名刺を持っていた方が良い。

[目的]  
上記の者が、渉外にて有効活用するため。

[内容]  
役職者や希望者が、渉外の場合にて、外部の方などと繋がりを大切に、継続するために、名刺をデザインし、発注しました。1年間、渉外の場合にて活躍していたら嬉しい。



## 2 Ethical&SEA 交流会への参加

#エシカル #仲間づくり #学び合い

2024年10月23日 会議室とEthical&SEA横浜

[背景]  
Ethical&SEA横浜の方にお声がけいただいた。

[目的]  
似た活動をしている人同士で交流をするため。

[内容]  
複数のエシカル系団体と活動内容を共有し、意見交換を行った。交流会後は、Ethical&SEA横浜の店舗に行き、商品を見ながら、互いに悩みごとやノウハウなどを打ち明け合った。



## 3 稲門祭実行委員

#稲門祭 #校友会 #毎年恒例

毎月第2水曜日

大隈会館N201~202会議室

[背景]  
稲門祭実行委員として、4期から続くごみ箱封鎖などの仕事を任されている。

[目的]  
稲門祭のごみを自分たちで処理することで早稲田大学を清潔に保つため。

[内容]  
キャンパス庭園サービス本部の会議に出席し、協議や校友との交流をした。また、実行委員会稲門祭当日にロドリゲスの紹介をした。慰労会では、感謝状を頂き、奨学生や早稲田祭運営スタッフ、校友と交流する場があった。



## 4 アップサイクル様との話し合い

#大人と学生のコラボ #認知度向上

📅 2024年11月8日 📍 オンライン zoom

[背景]  
学生とコラボをしたいとお声がけいただいた。

[目的]  
コラボへ繋がるよう、お互いを理解し合うため。

[内容]  
一般社団法人アップサイクルのプロデューサーとして働いている瀧様と、今後コラボを行うために話し合った。内容としては、お互いの活動紹介やアイデア出し、具体的には、環境問題を解決するためにはどうすべきか、アップサイクルの認知度を上げていく方法にはどのようなものがあるか、消費者の意識をどのように変えるか、などである。打ち合わせ後に、コラボ案を一度提示いただいたが、断念してしまった。

## 5 サイクルズグループ様との意見交換会

#企業×学生意見交換 #キャリア形成

📅 2024年11月18日 📍 早稲田大学 学生会館

[背景]  
株式会社サイクルズグループ様から意見交換を行いたいという連絡をいただいた。

[目的]  
環境活動についての意見交換と問題意識の共有を行うため。

[内容]  
互いの活動内容や開発商品の紹介を行い、互いの環境活動や環境問題に興味を持つ大学生のキャリア形成について意見の交換を行った。また、工場見学を実施することを提案していただいた。



## 6 令和稲門会様との話し合い

#稲門会 #OBOGとの繋がり

📅 2024年11月22日 📍 オンライン

[背景]  
学生と企業が交流できるようなイベントを共催できないかとお声がけをいただいた。

[目的] お互いの団体と活動を知り、イベント開催へ向けた企画を行うため。

[内容] まずは、お互いの団体、活動紹介をし合った。令和稲門会様が立ち上がった理由などもお聞きすることができた。次に、どのようなイベントをつくりたいかなどを話し合い、具体的なイベントのイメージを確認し合った。ただ大人と学生ではなく、現役学生と早稲田大学のOB、OGが繋がると良さそうとなり、その後の動きなどを確認した。

## 7 ネオキャリア様との連携

#企業との連携 #出張授業

📅 2024年12月17日  
2025年6月6日  
2025年6月11日  
2025年6月27日  
2025年10月20日

📍 早稲田大学 学生会館  
早稲田大学 学生会館  
オンライン  
新宿区障害者福祉センター  
早稲田大学 学生会館

[背景]  
前々期代よりお世話になっている。

[目的]  
27期代においても関わるため。

[内容]  
株式会社ネオキャリアの高山様と、出張授業などについて打ち合わせを行った。新宿区内の小学校で出張授業を行うことを、Re-CoverやPrecious Plastic Wasedaに繋いだ。



## 8 渉外局 ミーティング

#メンバーの興味確認 #振り返り

2024年12月19,23,26日 2025年10月10日 早稲田大学 学生会館  
オンライン

[背景]

渉外局として集まる機会が少ない。

[目的] 27期代の最初と最後に、これからの活動の確認やこれまでの活動の振り返りをするため。

[内容]

27期代の最初のミーティングでは、渉外局の概要や各メンバーの興味の確認、諸々の連絡事項などを行った。また、27期代最後のミーティングでは、主要コンテンツや渉外局全体などについて、1年間の活動を振り返った。具体的には、27期代の活動の良かった点や改善点などについて意見を出し合った。

## 9 クリアソン新宿 様との連携

#交流会 #新宿こどもまつり

2025年1月11日 2025年7月6日 クリアソン新宿オフィス

[背景]

しんじゅくこどもまつり出展などで以前からお世話になっている。

[目的]

円滑かつ有意義な出展を行うため。他団体との交流を新たな学びや出会いに繋げるため。

[内容]

Re-CoverとPrecious Plastic Wasedaのしんじゅくこどもまつり出展に向け会議、調整を行った。1,7月には出展者交流会に参加し、率直な意見交換を行い、出展者同士の親睦を深めた。



## 10 27期代版渉外 スライドの作成

#団体説明資料 #シンプルなスライド

2025年1月 オンライン

[背景]

外部の方に団体紹介する資料が複雑だった。

[目的]

よりシンプルで分かりやすい外部向けのスライドを作成するため。

[内容]

以前のスライドは文字数が多く、外部向けの資料としては良いが、プレゼンするスライドとしては多少見にくさがあった。そのため、シンプルを意識して27期代用のスライドを作成した。



## 11 賛同会員小清水 様との話し合い

#賛同会員 #他大学との繋がり

2025年2月11日 オンライン

[背景]

環境ロドリゲスは他大学の環境サークルと繋がりが少ない。そこで、小清水様が他大学の環境サークルと繋がりが多くあり、その繋がりをロドに還元したいと連絡をくださった。

[目的]

他大学の環境サークルと繋がりをつくり、連携を図るため。

[内容]

まずは、他大学の環境サークルを紹介していただいた。その後、なぜ繋がりが少なくなってしまったのか、今後繋がりをつくっていくためにどうすれば良いのか、などを話し合った。



12

## 第1回シンポジウム ~グリーングロース勉強会~

#環境系企業起業 #再生可能エネルギー #勉強会



2025年2月7日



早稲田大学 学生会館

[内容]

河野様による再エネに関する講義が行われ、メンバー13人が参加した。講義終了後には、河野様とインターン生との交流を目的とした食事を開催し、約2時間活発な意見交換が行われた。河野様にはお菓子とPrecious Plastic Wasedaで製作した櫛をプレゼントし、大変喜んでいただいた。さらに、2月15日にはえこねくすつによる河野様への取材を行った。

[背景]

早稲田大学OBで株式会社グリーングロース代表の河野淳平様からオファーをいただき、2024年11月下旬に主催チームが発足。メンバー内でも環境について学んではいるが、学生同士で正しい知識を共有するには限界がある。そこで、社会の第一線で活躍されている方を講師としてお招きし、実践的な知見を学ぶ機会を設けた。

[目的]

環境エネルギーに関する講義を通じて、環境問題への関心を高めるきっかけを創出するため。



13

## サイ클ーズグループ様の工場見学

#未来のものづくり #循環の現場から学ぶ #廃棄物からはじまるデザイン



2025年2月17,25日



東港金属株式会社千葉工場/他

[背景]

前年11月に意見交換会を行ったサイ클ーズグループ様のリメイクブランド「enloop®」担当人事の方が、事業会社である東港金属会社が運営する千葉県の産業廃棄物処理工場環境ロドリゲスのために工場見学を行うことを提案してくださいました。

[目的]

サーキュラーエコノミーを追求する企業が実践している取り組みについて知るため。また、実際に産業廃棄物の処理やリサイクルを行う工場やリサイクル商品を開発する現場を見ることで、資源循環型社会への理解を深めるため。

[内容]

はじめに都内のオフィスで企業の沿革や事業について紹介していただき、その後千葉県富津市にある工場とデザインチームの工房を見学させていただきました。工場では運ばれてきた産業廃棄物が多種多様な機械によって分別される様子を目の当たりにした。



# 14

## 株式会社PRADOX様主催 次世代リーダー育成 beyond the wall への参加

#次世代リーダー育成 #アイデア交流 #ノウハウ



📅 2025年2月19日  
2025年3月5日  
2025年3月6日  
2025年3月14日

📍 オンライン  
恵比寿  
石坂産業  
恵比寿&オンライン

### [背景]

株式会社PRADOX様とのご縁で、新規次世代リーダー育成プロジェクトの一期生として参加のお誘いがあり、成長の機会にと渉外局メンバー3名が参加する運びとなった。

### [目的]

社会課題に対するアイデアを磨く機会、ロドメンとしての発表の機会、成長の機会のため。

### [内容]

「自然といかに共生するか」という社会課題の解決を志す若者たちが集まり、ボーダレス・ジャパン様、アイグリッド・ソリューションズ様、石坂産業様協力のもと、課題解決に必要なマインドや方法論を実践的に学んだ。



# 15

## 鵬志会との 交流会

#ご縁を大切に  
#政治サークル

📅 2025年3月22日 📍 早稲田大学 学生会館

### [背景]

昨年の早稲田祭で大変お世話になった。

### [目的]

お互いの活動を紹介し合い、交流をするため。

### [内容]

まずは、お互いの活動を紹介し合った。それに対し、それぞれが質問などをし、最後に交流として、夜ご飯を食べにいった。同じ早稲田のサークルとして、繋がりができたので良かった。



# 16

## 渉外局交流会

#休日 #ドードーホットケーキ

📅 2025年3月31日 📍 レンタルスペース

### [背景]

対面でのミーティングがなかった。

### [目的]

渉外局員が交流し、仲良くなるため。

### [内容]

27、28期が仲良くなるために開催された。いつもは真面目に活動しているが、この日は遊ぶだけの日であった。ホットケーキパーティーとボードゲームで仲が深まった。



# 17

## AGESTOCK様 による取材

#インタビュー記事 #学生団体



2025年4月10日



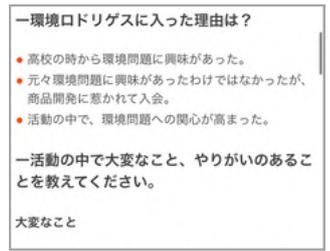
早稲田大学 学生会館

### [背景]

以前のイベントでお会いしたAGESTOCK様から、学生団体の「つながりを持つこと」を目指す提案の一つ目として、春新歓に向けたインタビューをしてくださるとのお声がけをいただいた。

### [目的]

インタビューやミーティング見学を通じて、AGESTOCK様に、環境ロドリゲスのことを知ってもらい、交流するため。また、インタビュー記事を公開してもらい、環境ロドリゲスをより多くの人に知ってもらうため。



### [内容]

まずは、環境ロドリゲスの活動をスライドをお見せしながら紹介した。Re-CoverやPrecious Plastic Wasedaの商品もお見せした。その後、ecoSMILEのミーティングを見学してもらい、最後に射出体験を行ってもらった。

### —これからどんな活動をしていきたいですか？

- プラスチック再生の行程のすべてを早稲田大学内でできるようにしたい。(今は名古屋で1部の工程を行っているが、この際の移動などでもCO2が発生してしまうため)
- 遠方での活動が多いが、早稲田大学の環境ボランティアサークルとして、早大生に対してのイベントを開きたい。

### —どのような人に入会して欲しいですか？

- 環境問題に興味なくても、想いがバラバラでも、気軽な気持ちで入ってきて欲しい。
- 誰でもウェルカム！



# 18

## 持続可能な社会へ羽ばた毛 プロジェクトへの参加

#企業×学生団体 #羽毛リサイクル #河田フェザー株式会社  
#株式会社ミラサス #上智大学Green Sophia #成城大学エシカル研究会



2025年4月26日  
2025年5月25日  
2025年8月6,7日  
2025年8月29日  
2025年9月15日



エシカルキャンパス  
上智大学  
河田フェザー明和工場  
ナカノ株式会社エコナム横浜工場  
早稲田大学8号館



### [背景]

以前取材をしていただいた株式会社ミラサス様より、企業と複数の学生団体で作り上げる「羽毛リサイクルの普及と促進」を目的とした共創プロジェクトへのお誘いをいただき、メンバーに加わる運びとなった。

### [目的]

羽毛資源というテーマで環境問題を捉え、他大学の環境ボランティアの学生団体との交流や企業の視点なども含めた学びを得るため。

### [内容]

上半期はプロジェクト始動の登壇（エシカルキャンパス）後、2度ずつ工場見学と出展（ASF, 地球感謝祭）を行った。メンバー内での勉強会やアンケートによる情報収集、出展用ゲーム、チラシなど今後の啓発、回収に向けた土台作りを中心に行った。



# 19

## 早稲田環境DAY 開催

#主催イベント#同世代へ#早稲田へ

📅 2025年6月25~27日 📍 早稲田大学 学生会館



### 【背景】

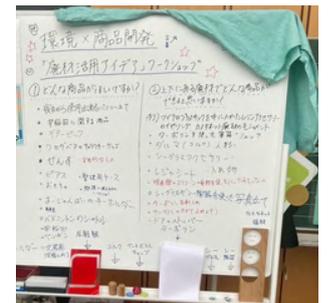
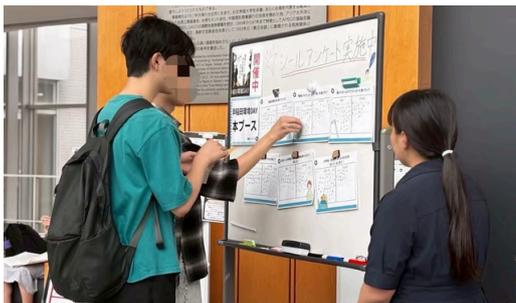
環境ロドリゲスの活動や内容が多岐にわたりすぎているという課題、一番身近な世代へ地域で活動が不足しているという課題、学生数の多い早稲田大学のサークルで、多様なテーマで活動してきたからこそそのリソースを活かせる可能性の3つが背景となり、環境ロドリゲス主催の環境啓発イベントを行うことになった。また、これこそが、早稲田大学最大規模の環境ボランティアサークルである意義であると考えた。

### 【目的】

これから社会を担っていくであろう多様で多くの早大生へ環境問題について啓発することにより、将来的に一人一人が環境問題への解決へ貢献できるようにするため。また、ただ環境問題について知ってもらうのみではなく、これまで環境ロドリゲスが行ってきた「環境×〇〇」の活動のように、参加者それぞれに自分の興味と環境問題を組み合わせて考えてもらうため。

### 【内容】

本ブースと「環境×〇〇」の7つのテーマ別ブースを出展する形式のイベントを開催した。本ブースでは、活動紹介やシールアンケートを行った。シールアンケートでは、「自分一人が頑張っても地球環境は変わらないと感じる？」や「普段水筒を持ち歩いている？」などの6つのアンケートを行った。「環境×〇〇」の7つのテーマ別ブースでは、普段の活動である里山、海、教育、商品開発、地域活性、キャリア、プラスチックを扱ったコンテンツを提供した。イベント参加者人数は497人となり、多くの早大生に参加してもらうことができた。3日間行ったため、各日で改善を重ね、より良いイベントをつくっていった。イベント開催の背景や経緯などのプロセスを考えると、初めて開催したこと自体意味のあるものとなっただろう。しかし、多くの反省も出たので、今後の活動に活かして欲しい。



20

## 第2回シンポジウム ～ロドリゲス島訪問報告会～

#ロドリゲス島 #団体名の由来に迫る #OBとのディスカッション

📅 2025年8月24日 📍 早稲田大学 学生会館

### 〔背景〕

以前からお世話になっている環境ロドリゲス4期でトヨタ自動車株式会社に勤めていらっしゃる木藤様が、会社の制度を使用してロドリゲス島に訪問されたということで、その経験を現役会員に報告していただきました。

### 〔目的〕

環境ロドリゲスの名前の由来であるロドリゲス島がどのような場所であるか知り、環境問題について深く考える機会をつくるため。また、環境問題についてのディスカッションをしながら、OBとの交流を深めるため。

### 〔内容〕

ロドリゲス島の環境団体についてやエネルギー事情、ごみ事情などについて報告していただきました。また、ディスカッションでは、エネルギーシフトするための課題や日本から世界に向けた環境問題に対しての効果的な貢献などについて扱い、交流を深めた。



21

## 第3回シンポジウム～キリン勉強会～

#容器包装 #キリン #上智大学Green Sophia

📅 2025年9月30日 📍 キリングループ中野本社

### 〔背景〕

普段の活動では、イベントの開催(アウトプット)が多いため、勉強(インプット)する機会を設けたかった。事業規模が大きく、環境への取り組みを積極的に行っている会社の取り組みから学べるがあると考えた。

〔目的〕 普段聞くことができない「企業の環境活動」から学びを得るため。そして、それらを自分たちの活動に活かす。また、本勉強会を機に、キリンさんや参加いただいた上智大学Green Sophiaさんとの交流を深めるため。

### 〔内容〕

キリンでは、環境に対するいくつかの取り組みがあるが、今回はその中の1つである「容器包装」について教えていただいた。具体的な数字や他社、他国の事例を交えながら、日本のリサイクルの現状について学んだ。



22

## むさしのYouthエコフォーラム

#Youth同士の交流 #コラボアイデアの出し合い #中高生からの刺激



2025年9月23日



むさしのエコreゾート

### 〔背景〕

日頃からお世話になっているNPO法人新宿環境活動ネット様から、昨年も参加させていただいたこのイベントに、今年も招待いただいた。

### 〔目的〕

環境やサステナビリティをテーマに活動する学校やゼミ、サークルなどのYouthが集まることで、互いの活動紹介を行ったり、学んだり、交流したりするため。また、この繋がりをその後に活かし、新しいタネやコラボアイデアなどを生み、それぞれの活動の幅を広めたり、活動に深みを持たせたりするため。

### 〔内容〕

23団体・80名以上が集まり、それぞれの環境活動の紹介や交流を行った。学生団体、大学のゼミ、中高生など、普段関わらないようなとても幅広い層と関わることができ、刺激を受けた。また、数人のグループに分かれて、コラボアイデアを出し合う「えんたくん会議」も行った。



23

## 鵬志会の勉強会への参加

#議員による勉強会 #日本の一次産業



2025年6月17日



早稲田大学 3号館

### 〔背景〕

交流会を行った後に、お声がけいただいた。

### 〔目的〕

繋がりを継続するため。また、一次産業についての講演を聞くため。

### 〔内容〕

石川衆議院議員が日本の一次産業についての講演を行なってくださった。また、その後、石川さんと鵬志会との懇親会が行われた。



## 28期代の展望 Future Outlook

28期代の目標として「学びとつながりの機会を増やす」という目標を立てた。目標の実現のために行うこととして、以下の4つを挙げる。

1つ目は、月に1度勉強会や交流会、工場見学などのコンテンツを提供する。

2つ目は、前期代行った主催イベントの成果を基盤とし、反省点から得た学びを生かし、主催イベントをほかの団体と協力し開催する。

3つ目は、メンバーがサークルの全貌を知ることによって、組織力・モチベーションが向上することに期待し体験内容の共有を行う。

4つ目は、渉外局が外部の企業・団体を各企画につなぐ役目を担い、連携の強化と拡大、記録を行う。



# 運営広報局

## Management & Information

### 活動方針 Goals

環境ロドリゲスを裏から支え、メンバーが活動しやすい環境を整える。

### 活動方針の背景・振り返り Review

運営広報局では、学校のイベントや組織運営、広報を担当した。裏方として、ロドリゲスを構成するメンバーの声をよく聞き、活動しやすい環境、モチベーションが保たれる環境を作れるよう意識して活動した。また、局の体制に移行してから2代目の運営広報局として、先代の役割を踏襲しつつ、次世代以降への引継ぎや改善点などを考えながら活動した。

## 1 ロドT作成

#ユニフォーム #ドードー #アピール

2025年6月 早稲田大学学生会館

[背景]

企画の増減によるロドTの新規作成

[目的]

活動時に着用することで  
ロドリゲスの活動を周知する



[内容]

活動時に着るユニフォームとしてロドTを作成した。色は全員統一のアイビーグリーンに、背中にはドードーのロゴを大きく入れた。企画のロゴは入れず、恒久的に使用できるデザインを選択した。

## 2

### 新歓活動

#新歓 #早稲田 #ビラ拾い

2025年4月1日~4日 早稲田大学

[背景]

毎年4月1日~4日にかけて行われる新歓活動への参加・学生生活課よりビラ清掃の依頼



[目的]

新入生の勧誘・ロドリゲスの活動の周知  
早稲田大学内のビラ清掃・早稲田大学生らに環境への配慮・意識の呼びかけ



[内容]

新歓ブース・ボラカフェへの出展、ビラ配り、ビラ回収を行った。  
今年は新歓ブースとボラカフェ合わせて延べ70人超の方が足を運んだ。  
連日の雨により大学内のビラの状況はかなりひどいもだった。来年度からはロドリゲスだけでなく、ビラの配布を行う公認サークルすべてがビラの回収も行うよう、学生生活課との話し合いも行った。



# 3

## ロドド

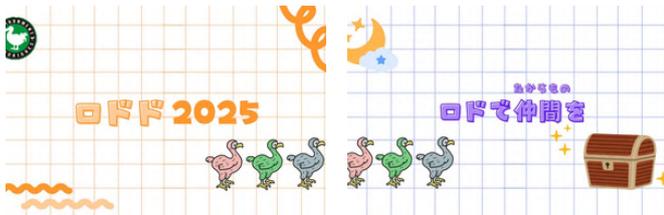
#自己紹介 #新入生 #仲良し大作戦

2025年6月 環境ロドリゲスグループLINE

[背景]  
新入生加入に伴う自己紹介カードの作成

[目的]  
メンバーのことを知り、仲を深める

[内容]  
新入生加入に伴い、自己紹介カードを作成した。メンバーの個性があふれる楽しい自己紹介カードが完成した。



# 4

## ロド通信

#活動報告 #情報共有

2024年12月～ 活動報告グループLINE

[背景]  
所属企画以外の企画の活動を知る場を作る

[目的]  
それぞれの企画の活動の報告・共有

[内容]  
それぞれの企画、局の活動内容をまとめた報告冊子を作成した。負担など踏まえ、次期代からは外部向けに簡略化した活動報告を作成した方が効果的ではないかと考えている。



# 5

## 地球感謝祭

#早稲田三大祭り #環境教育

2025年9月15日 早稲田大学

[背景]  
地球感謝祭にて環境分野で出展

[目的]  
早稲田地域の子どもたちに環境問題について考えるきっかけを提供する。  
来場者のゴミの分別指導を行い、地球にやさしいイベントの実現に貢献する。

[内容]  
6月ごろから班に分かれ、28.29期を中心に準備を進めた。どうすれば子供に分かりやすく、楽しく環境について考えてもらえるかを試行錯誤した、非常に完成度の高い出展だった。これからの活動につながる視点やアイデアが生まれた有意義なものになったと感じている。



## 28期代の展望 Future Outlook

環境ロドリゲスを支える裏方として、今後も運営の円滑化に貢献できる局であってほしいと願っている。ロドTの引継ぎやロド通信の変革などで新しく余裕が生まれた分を、外部に向けた広報の面に発揮してほしい。また、早稲田大学、そして早大生との連携も今後さらに強めていってもらいたい。



## 05 | 各企画活動報告



### ○ 内容 ○

活動理念    今年度の方針    活動概要

今年の活動    今後の展望





# 「環境×里山」やまなび

## 活動理念 Philosophy

やまにまなび、やまをナビする

## 27期代の方針 Policy

- ・仲良く楽しい、史上最高のやまなび
- ・広い視野を持って里山に向き合う
- ・交流イベントを増やし、内部の充実を図る

## 活動概要 Overview

毎週1回以上ある実地活動では、森林整備、緑地の整備、清掃、放置の竹林整備、まきわり、腐葉土づくり、階段整備などを行っている。また、学生会館でのミーティングでは「自然や里山の役割」、「里山に関連した環境問題」についてディスカッション、ディベート、プレゼンテーションを行っている。

## 28期代の展望 Future Outlook

28期代では「里山の環境問題解決に貢献する」というやまなび発足当初の目的を受け継ぎつつ、二つの方針を掲げる。

1つ目は「勉強会を通して森林や里山の知識を蓄え、次回以降の活動を活性化する」だ。12月には里山をテーマにして各グループごとに勉強・調査を行い、メンバー同士で教え合う勉強会を行う予定だ。講師となるメンバーが、他のメンバーに分かりやすく伝えることを意識することで、理解を深めるとともに、主体的な学びになることが期待される。

2つ目は「交流を通してメンバーの仲を深め、楽しみながら共に成長する」だ。学生のサークル活動らしく仲良く楽しく活動していきたい。

# 1

## 高尾の森ボランティア

#高尾の自然学校 #セブンの森

毎月一回程度

高尾の森自然学校

### 〔背景〕

25期代より始まった活動。セブンイレブン記念財団と東京都との共同事業として、高尾の森自然学校が行っている森林の保全事業に、ボランティアとして参加している。

### 〔目的〕

八王子の貴重な森林を守り、脱炭素社会への貢献と生物多様性の保全を目指すこと。地域の歴史、自然、文化の継承。東京都内という比較的メンバーが通いやすい距離にある場所で本格的な森林整備について経験していくこと。



### 〔内容〕

高尾の森自然学校さんが主催している森林整備活動「森のお手入れボランティア」への参加。100年後を見据えた森づくりをテーマに、ナラ枯れ木を伐採しコナラの萌芽更新を促すとともに、アカマツなどの苗を植え、多様性の高い本来の伝統的な里山林を取り戻す活動をしている。春から夏にかけては、下草、草本の刈り取り、蛍の沢源流地域周辺の整備をしている。秋から冬にかけては光の当たる森づくり、伐倒作業、階段づくりを行っている。



# 2

## 里山フェスティバル

#宝探し #子供の自然体験 #高尾

2024年11月16～17日 高尾の森自然学校



**[背景]**  
高尾の森自然学校さんのプログラムである「秋の里山フェスティバル」に出店を申し込んだ。

**[目的]**  
子供が自然に触れ合う機会をすこしでも増やすこと。また、当時課題であったミーティングの活動意義向上のため。代替わりの時期であったためメンバー間での交流も目的の一つであった。

**[内容]**  
「里山のお宝大搜索」と題して、カラーボールを宝と見立て森の中で宝探しを行った。見つけた宝はミーティング中に作った景品と交換し持ち帰ってもらった。対象は未就学児から小学校低学年とその家族である。



# 3

## 吉見町森林整備

#埼玉県 #健康的でおいしい昼食

毎月第3日曜日 埼玉県吉見町ヤマザキの森



**[背景]**  
早稲田大学OBであり、吉見町で地域プロジェクトマネージャーを務めている坂本明さんよりやまなびと吉見町で連携して何かできないかという旨の連絡をいただいたことがきっかけで始まった活動。

**[目的]**  
木材価格の低迷やエネルギー転換により、増えている荒廃した山々と農村の過疎化、そして弱体化している国内林業。これらの問題を解決するため薪の利用を促進し、持続可能な森林再生と地域の活性化を進めている。

**[内容]**  
森林内での間伐の他、除草、低木剪定、シイタケ栽培、薪割りなど。また活動終了後に坂本さんに吉見町内での名所の案内をしていただいたり、地域で里山問題について活動している人たちを紹介していただいたりしている。毎回活動場所で健康的な昼食を頂ける。おいしい。



# 4

## 独歩の森整備

#中央線 #緑地 #日本女子大

📅 月一回程度

📍 武蔵野市境山野緑地



### [背景]

かつて日本女子大学に在籍していたメンバーの紹介により、日本女子大学で教授を務められていた田中雅文さんが代表である「武蔵野の森を育てる会」というボランティア団体の活動に参加させていただくことになった。

### [目的]

武蔵野市に残された貴重な緑地の保全を通して、自然環境の保護について学ぶこと。地域の保全団体や学生団体とともに活動することで、同じビジョンを共有しその地域の現状について共に考えていくこと。

### [内容]

緑地内でのごみ拾いの他、森林環境の整備のための間伐、除草、低木剪定、外来種駆除などを行います。また、竹の間引きやどんぐり拾いなど季節ごとに活動内容が異なる。



# 5

## 長柄町泊まり込み森林整備

#放置竹林 #セルフビルド #ビール工場 #合宿

📅 2024年3月3～4日, 2025年 9月9～11日 📍 千葉県長柄町



### [背景]

NPO法人「ふるさとネッツ」で理事を務められている井上源太郎さんの活動に、森林整備やセルフビルドのお手伝いとして参加させていただいている。コロナ前から関係が続いている唯一の活動である。

### [目的]

2日間の森林整備を通して、より本格的に森林整備に取り組むことや、井上源太郎さんの他、その地域で活動・生活されている人々の声を聞き、里山の抱える課題について理解し、その解決策について考えていくこと。

### [内容]

今年は初日にターザニアに訪問し、自然の中でのアクティビティを体験した。基本的な活動としては、セルフビルドで建てられた家周辺の森林の整備、災害によって倒れた木や川に流された流木の除去などを行った。また、井上源太郎さんの知り合いの方の家まで訪問し、裏山の整備や竹を用いた工作などを行った。さらに地域の方をお招きしてBBQを通しお互いの考えを共有・議論し関係を深めた。



# 6

## やまなびプレゼン大会

#内部充実 #勉強会 #グループワーク

2024年11月26日 早稲田大学学生会館



**[背景]**  
やまなびの活動の課題として、主体的に行動できていないという問題点があった。その原因として自分たちが里山や自然、保全活動の取り組みなどに詳しくないという点がある。そのためプレゼンを通し勉強するために行った。

**[目的]**  
課題である主体的な活動をするための勉強会としての役割。また、グループで1つのプレゼンをすることによってメンバー間の交流の促進を狙った。メンバー1人1人の里山への関心を深める狙いもあった。

**[内容]**  
20人のメンバーを4つのグループに分け異なるテーマでプレゼンを行った。テーマは「獣害対策」、「里山とは?」、「行政の役割」、「防災」の4つである。メンバー内で特に関心のあるテーマを取り扱った。1グループ10分ほどプレゼンし質疑応答をした。



# 7

## やまなびディベート対決

#獣害と生物多様性 #メガソーラー事業と里山

2025年6月16日 早稲田大学学生会館



**[背景]**  
活動場所である吉見町ヤマザキの森は太陽光パネルで囲まれている場所にある。太陽光パネル設置に伴い光の入り方が変わり地域の植生に影響があるという話を聞いて、メンバー内で議論が起こった。これは全体で考えるべきだと思いディベートという形で行った。

**[目的]**  
里山やそれに付随する環境問題とその対策についてさらに深く知るため。答えがない、もしくはわからない環境問題に対して、議論を重ねることによって理解を促し、多角的な視点で物事を見る力を養うため。

**[内容]**  
肯定サイド、否定サイド、判決サイドの3グループに分かれ、交代制でディベート対決を行った。テーマは「メガソーラー事業の是非」と「獣害を理由に動物を殺すことの是非」の2つである。各サイドが主張と質問を繰り返し、最終的に判決サイドが協議し、勝敗を決定した。





# 「環境 × 教育」 ecoSMILE

## 活動理念 Philosophy

環境教育を通して、持続可能な社会を形成する人物を育成する。

## 27期代の方針 Policy

27期代ecoSMILEでは、「子どもたちも、私たちも楽しく、学ぶ。」ことを目標に活動した。

## 活動概要 Overview

27期代では、これまで継続して行われてきたイベントに引き続き参加するとともに、新たなイベントへの出展も行った。子どもたちに正しい知識を伝える責任を意識しながら、子どもたちと、ともに学び・楽しむ活動を行った。

## 28期代の展望 Future Outlook

28期代ecoSMILEの活動方針は二つある。一つ目は「7コンテンツ以上の教材作成」だ。ゼロから作るのではなく、これまで制作されてきた教材のブラッシュアップを行う。二つ目は、「出張授業を5回以上行う」だ。私たちのアウトプットの場つまり環境教育の場を設ける。活動方針の内容のほかに、企画内での勉強会を行い、環境教育質の向上に努める。「子ども達への教育だけでなく、自分達のインプット・アウトプットの機会を作る」を軸にしながら、子供たちも自分たちも楽しむ。そして、ecoSMILEのネットワークを広げていき、大学生だからこそできる環境教育を行っていくことを目標とする。

## 1 夏鯖江ゆるりん 2025 #環境教育 #鯖江

📅 2025年8月15-18日 📍 福井県鯖江市 「ユーカルさばえ」

### 〔背景〕

福井県鯖江市の「ユーカルさばえ」様とは約20年来のご縁があり、協同で鯖江市の子どもたちを対象とした環境教育イベントを毎年春・夏の2回開催している。

### 〔目的〕

鯖江市の小学生に環境問題への関心を持ってもらうきっかけをつくること。



### 〔内容〕

8月16日・17日の2日間にわたり、4種類の環境教育プログラムと学習支援を実施した。

「地球温暖化」： すぐろくを通して、地球温暖化への理解を深め、身近にできる対策を学んでもらった。

「再生プラスチック」： 現在起きているプラスチック問題について紹介し、Precious Plastic Wasedaで作成したビーズを使ってストラップ作りを行った。

「廃材」： 分別の大切さについて講義した後、Re-Coverで普段出展している廃材を活用した工作を行った。

「海洋汚染」： 海洋生物に影響を与える環境問題に関するクイズを実施した後、海洋ごみを描いたイラストを使った的当てゲームを行った。1日目には鯖江市長の佐々木勝久氏にご挨拶をしたほか、エコネットさばえ様を訪問し、環境教育に関する多くのことを学ぶ機会となった。



# 2

## こども霞が関 見学デー #廃材活用



2025年8月6-7日



環境省

### [背景]

昨年に引き続き『環境省環境教育推進室』様にお話をいただき、『加山興業株式会社』様と合同で出展した。

[目的] 本イベントに参加する子どもたちに、実際の環境問題について知ってもらう。



### [内容]

加山工業株式会社様はリサイクル素材を使ったキーホルダー作りをされ、本企画はその手伝いとして子どもたちに制作の補助や素材の説明を行った。リサイクル素材は具体的に、導線の電線皮や太陽光パネルに使用されたガラス、銅線や基盤の抵抗である。素材を型に並べレジンを閉じ込めることで、ほかに類のないオリジナルの作品となった。子どもたちには作品作りを通して廃材活用を身近に感じてもらえたと考えている。また他団体の活動を見ることにより、メンバーにとっても実りの多い活動となった。

# 3

## 西早稲田 こども天国 #早稲田



2024年11月24日



大隈通り

### [背景]

昨年に続き、早稲田地域の子ども向けイベントに参加し、子どもたちに楽しんでもらえる企画を実施した。

### [目的]

27期代ecoSMILEになって初めてのイベントであったため、準備や出展を通してメンバーと仲を深めてもらう。そして、メンバーと子どもたちの双方に楽しんでもらう。



### [内容]

「どんぐりを使ったコロコロ迷路」と「モグラたたき」を出展した。天候にも恵まれ、180人以上の子どもたちが参加した。何度も遊びに来てくれる子どももおり、楽しんでもらうことができた。



# 4

## サロン エコライフ



2025年3月26日



目黒区エコプラザ

### [背景]

先輩が引退前に目黒区エコプラザの担当者の方と打ち合わせを行い、出前講座の依頼を受けた。それに伴い、Re-Coverが普段出展している「廃材を活用したキーホルダー作り」と講義を実施することになった。

### [目的]

廃材の活用を通して、子どもたちにリサイクルについて考えてもらうことを目的とした。



### [内容]

再利用に関する講義を行った後、カスタネットの廃材や鮭のうろこを用いた魚のキーホルダー作りを実施した。最後にクイズを行ったところ、子どもたちが全員正解し、理解を深めてもらうことができた。



# 5

## オンライン クラブ交流会



2024年12月8日



ZOOM

### [背景]

例年、こどもエコクラブ全国フェスティバルに参加していたが、今回は大阪開催のため参加が難しい旨を伝えたところ、代わりにオンライン交流会を開いていただいた。

### [目的]

他クラブの方々と交流することで、自分たちの活動を振り返り、今後のより良い活動につなげること。



### [内容]

初めに互いの普段の活動を紹介し合い、その後、質問や意見、アドバイスを交わす時間が設けられた。応援団の方からのエールメッセージもいただき、さまざまな活動内容を知る良い機会となった。



6

## 新宿 SDGsフェス

#松ぼっくり #クリスマスツリー

📅 2024年12月21日 📍 新宿中央公園

### 〔背景〕

ecoSMILEの“まちの先生”環境学習プログラムガイドに掲載を受け、NPO法人新宿環境活動ネット様からお誘いをいただきました。

### 〔目的〕

自然のものを使った工作を通して、興味を持ってもらうきっかけを作る。

### 〔内容〕

松ぼっくりに飾り付けをすることでクリスマスツリーを制作した。子どもたちには松ぼっくりという自然のものに触れながらモノづくりの楽しさを学んでもらった。



7

## 新宿エコライフ まつり

#古着 #リサイクル

📅 2025年6月7日 📍 エコギャラリー新宿

### 〔背景〕

『エコギャラリー新宿』様からのお誘い。

### 〔目的〕

メンバーと子どもたちが一緒になって楽しくリサイクルに触れる。

〔内容〕古着を活用したくすみボタンづくりを行い、制作したボタンに子どもたちが自ら絵を描くことで独自性あふれるボタンが完成した。古着を活用していることを説明することで、リサイクルの可能性を伝えることができた。



8

## 春鯖江ゆるりん

2025 #生物多様性

📅 2025年3月7-10日 📍 福井県鯖江市  
「ユーカーさばえ」

〔背景〕〔目的〕：夏鯖江ゆるりんと同様。

### 〔内容〕

本イベントでも夏と同様に3種類の環境教育プログラムを実施した。コンテンツは右の「外来種」、「生物多様性」、「クイズ大会」である。



### 〔コンテンツ内容〕

「外来種」：外来種が生態系に及ぼす影響について説明し、在来種と似た外来種を紹介した。モグラたたきの形式でゲームを通して、外来種と在来種を区別してもらった。

「生物多様性」：世界の絶滅危惧種について特徴や絶滅の原因をかるたを通して学んでもらった。オリジナルのかるたを使用し、メンバー自らの学習と子どもたちの理解が促進された。

「クイズ大会」：山や水に関するクイズを出題し、楽しみながら知識を学んでもらった。地球温暖化と山火事についての関連性についても説明を行った。





# 「環境×海」 うみさんぽ

## 活動理念 Philosophy

学生の立場から海洋環境問題に取り組むことで、日々の環境意識を高める。

## 27期代の方針 Policy

27期代うみさんぽは

- ・学びを重視する実地活動へ
- ・実績を作るための組織作り
- ・他企画や外部を取り込んだ活動の拡大の三柱の目標を掲げて活動してきた。

「学びを重視する実地活動」に向けては、最も主な活動であるビーチクリーンにおいてメンバーが学びを得られるよう、分別したゴミの総量および各量の記録を通して「記録と可視化」を行った。「他企画や外部を取り込んだ活動の拡大」に関しては、ミズヒマワリ除去活動においてえこねくすととともに東京釣り協会への取材を行い、記事を作成するなど、他企画とのコラボレーションを実施し、メンバーが異なる視点から学ぶ機会を創出することができた。また、全世界同時開催の「WORLD CLEANUP DAY 2025」に参画し、9月に集めたゴミの総量32.79kgを計上した。

組織作りに関しては、連携に際し一部の者に負担が集中し機能しなかった面もあったが、野外活動の頻度と形式を増やし、メンバーがそれぞれの興味・関心に応じて参加できるようにすることで、活動内容を充実させつつ柔軟な形態での運営が可能となった。

また、発足以来の活動内容の充実と規模の拡大の結果、27期代では最も所属人数の多い企画となり（67名）、野外活動への延べ参加者数はロドリゲス内だけで166名に達した。活動のたびに新たな仲間と出会えることを強みとし、「手軽で楽しい環境活動」の最前線を走っている。

## 活動概要 Overview

海や川などの水圏環境の保全に向けた活動を行っている。海岸や河川の清掃活動のほか、外来生物の駆除活動も実施している。他団体との合同清掃活動に加え、外来魚釣り大会や活動後の交流会なども行っており、「楽しみながら学べる環境活動」を体現する企画としての立ち位置を確立している。



## 28期代の展望 Future Outlook

28期代の活動の展望として、まず「楽しく環境活動」という企画理念を掲げる。その理念に基づき、次の3つの活動方針を定める。

①活動に意味付けを行う。

→ビーチクリーンを実地活動日に完結させず、新たにビーチクリーンレポートを作成し、結果の可視化を通じて活動を活性化させる。

②組織に壁を作らない。

→企画長が独立して意思決定を行うのではなく、部員間の交流を深め、全員で作り上げる「うみさんぽ」とする。

③外部とつながる。

→27期代の活動方針を引き継ぎ、他企画との交流をさらに深め、BLUE SHIP・Pirika・SNS・ウェブサイトなどを活用して活動を拡大する。



# 1

## ビーチクリーン

#フィールドワーク #海で交流  
#小さなことからコツコツと



2024年11月10日 いなげの浜  
2024年12月21日 片瀬東浜海岸  
2025年5月10日 野島公園  
2025年5月25日 葛西海浜公園  
2025年8月8日 阿字ヶ浦海水浴場  
2025年9月8日 お台場海浜公園  
2025年9月18日 由比ヶ浜  
2025年10月1日 富津海水浴場

### 【背景】

ビーチクリーンは身近にできる環境活動としてだけでなくメンバーが現場に出向き現状を知る機会となっている。そのため、それらの発信による環境啓発など学びを重視する我々にとって最も重要で基本的な活動の一つとなっている。

### 【目的】

海洋ごみ、汚染問題の解決に向けての海岸清掃の他に、「うみさんぽ」の名の通り現場を自分の足で探ることで現状を知り、考察を深め対策を考えるきっかけとすることを目的としている。また、活動の様子を発信によって現状を世に広めることに加え、気軽に参加できることによる環境関係人口の増加を図っている。



### 【内容】

うみさんぽのビーチクリーンは、その手軽さと楽しさが強み。テスト期間を除き平均して1か月に1回弱ほどの頻度で関東近辺の海(東京、千葉、神奈川)を中心に行った。前年度に比べて施工回数と一回当たりの参加人数は増加し、1回あたり平均14.3名の参加、計114名の参加者数を記録した。軍手一つで知識やノウハウがなくても参加でき、活動後の食事会や観光といったアクティビティでそれ自体が交流の機会となるビーチクリーンはうみさんぽの所属人数の増加にもつながり、「手軽で楽しい環境活動」の最たる例となっていた。

また、27期代から記録を始めたビーチクリーンレポートでは独自の基準で分別したごみの総量と各量の記録を開始し、メンバーのモチベーションと学びの機会となっている。27期代では平均11.1kg、計88.8kgのごみを拾い上げた。



2

## 合宿BC

#合宿 #交流 #海水浴

📅 2025年8月8日

📍 阿字ヶ浦海水浴場

[背景]

8月7～8日に行った夏合宿でのビーチクリーン。宿泊先近くの阿字ヶ浦で行った。



[目的]

遠征の機会に普段よりも遠くに位置する海岸を清掃する。



[内容]

ごみがほとんど見当たらず、定期的に綺麗に清掃されていた。集めたごみの量は1kg未満でした。成果は得られなかったものの海水浴をしながらのビーチクリーンという新しい形で楽しく海に触れることができました。

3

## WCD2025

#キャンペーン #世界とつながる

📅 2025年9月

📍 お台場海浜公園  
由比ヶ浜

[背景]

2023年の国連総会で決まった9月20日の「World Cleanup Day(以下WCD)」に合わせ、2025年9月に190か国以上が参加する全世界同時開催のごみ拾い計上イベントが行われた。

[目的]

全世界規模での環境保全、意識向上、団体連携を目指す啓発キャンペーン。



[内容]

9月にお台場と由比ヶ浜でのビーチクリーンで集めた総計37.3kgを計上し、WCD Japan様より記念Tシャツを頂戴した。

4

## ゲーム形式BC

#遊び心を #楽しさワンポイント

📅 2024年11月10日 いなげの浜  
2025年5月10日 野島公園

[背景]

人数が増えたビーチクリーンに楽しい取り組みを取り入れようと考えた。

[目的]

より楽しく環境活動をしつつ、メンバーの統率を図る。

[内容]

チームごとに分かれてビーチクリーンを行い、最もごみを集めたチームには景品を与えていた。活動のモチベーションになっているので、バリエーションを増やしていこうと思う。



5

## ドライブBC

#小旅行 #領域拡大 #思い出作り

📅 2025年10月1日 📍 富津海水浴場

[背景]

富津への遠征の交通手段として車を用いた。

[目的]

遠隔地へ行くことを可能にし、交流を深める。

[内容]

ロケーションの幅を広げた象徴的な活動の一つで交通の不便を車で出向くことで解決した。車での遠征自体が参加者の思い出になった。



## 6

## 夏合宿2025

#合宿 #交流 #絆



2025年8月7日～8日



茨城県



## 〔背景〕

昨期に引き続き、今年もうみさんぼの夏合宿を実施した。千葉県、東京都、神奈川県といった普段の活動場所から外れ、今年は茨城県への遠征を行った。うみさんぼの合宿は何よりも交流と楽しさを重視しており、すでに一大「青春」イベントとなっている。メンバーが企画から運営までを協力して行い、ここで仲良くなったメンバーたちが今期代の運営を担うなど、重要なイベントとなっている。

## 〔目的〕

- ・長期休みを利用して遠征し、普段アプローチできない地域で環境活動を行う。
- ・より多くの地域での現状を知ることで、幅広く海洋ごみ問題について考え、学びを得る。
- ・メンバー間の交流を深め、思い出をつくる。

## 〔内容〕

総勢20名で茨城県大洗市～ひたちなか市を訪れた。一泊二日で1日目は大洗水族館「アクアワールド」に行った後、「かねふくめんたいパーク大洗」や大洗海鮮市場にて茨城のご当地グルメを楽しみ、宿にてメンバーで夕食を作り食べた。2日目は阿字ヶ浦海水浴場でビーチクリーン兼海水浴を行い、那珂湊海鮮市場で昼食をとった。茨城県の名産や名所に触れつつ楽しい時間を過ごすことができ、有意義な時間になった。ただしビーチクリーンでは海水浴がメインになってしまい大きな成果が得られず、1kgもごみが集まらなかったが、海水浴客がごみの片付けをきちんと行って行政が定期的に清掃していることが分かり、新たな学びを得た。海に触れ、海を楽しみ尽くす合宿を通してメンバー間には確実に強い絆が芽生え、成長することができた。



# 7

## ミズヒマワリ除去活動

#生態系 #外来種 #朝活 #外部連携



2024年11月4日  
2025年3月30日



千葉県香取市長島新堀

### [背景]

25期代より、東京釣り協会と協力して千葉県香取市の川で特定外来生物のミズヒマワリの除去活動を行った。水面をマット状に覆うミズヒマワリの大規模な繁殖は魚類の成長を妨げ、生態系に悪影響を及ぼしている。また、この問題は生態系だけでなく、水路の水流阻害などによって地域の住民の生活にも悪影響を与えている。

### [目的]

- ・ミズヒマワリ除去活動を通じて、生態系の保全や地域の環境問題の解決を目指す。
- ・東京釣り協会様や地元の方々との交流を通して、外来種に関する知識を増やし、現状についてより詳しく理解することを目指す。

### [内容]

レーキやアメリカンレーキなどを用いて、川の水面に繁茂した外来植物のミズヒマワリを岸に引き上げ、乾燥させる作業を行います。ミズヒマワリの重さによって作業は大きな体力を要しているが、メンバーと協力して効率的に楽しく作業をする姿が見られた。また、水草に流れてきたゴミが溜まりやすく、除去作業の一環としてゴミ拾いも行った。11月に行った第一回の活動では日本の農業に大打撃を与えている特定外来生物「ジャンボタニシ」の卵が多く見られ、その除去も並行して行うことで新たな生態系問題に触れることができた。

本活動はメンバーの生態系問題への関心を深め、現場に触れる機会になっていた。活動の度に元通りになるミズヒマワリに外来生物の繁殖力の強さを思い知らされる日々だったが、今後も継続的な活動を展開し、根絶を目指して活動していこうと思った。



# 8

## 外来魚釣り大会

#レジャー #体験型 #思い出



2025年8月31日



千葉県香取市

### [背景]

ミズヒマワリでお世話になっている東京釣り協会様に機会をいただき、普段活動している香取市で毎年夏に開催される「外来魚釣り大会」というイベントに参加させていただいた。

### [目的]

- ・外来魚が生態系を脅かしている現状について実際に現場の外来種に触れることで知見を得る。
- ・釣りというレジャー形式の活動で交流を深める。
- ・普段お会いしない協会の方を含め現場の最前線の方々からお話を聞く。



### [内容]

うみさんぽからは総勢23名が参加し、今期代最も人が集まり盛り上がったイベントになった。昼食は釣り協会の方々とうどんを作って食べ、交流を深めつつ大人数で楽しく学びを得ることができ、貴重な体験になった。



# 9

## 江戸川クリーン

#他団体 #ゴミ拾い #外部連携



2025年9月20日



江戸川

### [背景]

学生団体「おりがみ」様、早稲田大学学生ボランティア企画集団NUTS様と企画しているゴミ拾い活動。既に環境活動に取り組んでいる学生と取り組んでいない学生両方をターゲットに、環境に活動に携わる機会の提供を行っていた。関東近辺の環境団体とも連携し、環境活動の輪を広げていきたいと構想している。

### [目的]

- ・環境活動に参加するきっかけとなる場の提供
- ・他団体や地域と連携した、環境活動のコミュニティの形成
- ・ごみ拾いをきっかけとした活動の輪の拡大



### [内容]

月に一度3団体で清掃活動を行っていた。江戸川にとどまらず山手線沿線で街の清掃活動を行っていたが、今年度は初心に立ち返る意味で江戸川での清掃を行った。活動後に花火をし、交流を深め楽しい活動になった。



# 10 荒川クリーン

#新たな試み #川

2025年12月31日 荒川河川敷

〔背景〕  
活動領域の拡大のため、荒川の清掃を企画した。

〔目的〕  
活動領域を河川に拡大し、新たな知見を得る。

〔内容〕 (84文字)  
荒川河川敷での清掃活動を行った。川べりには入れなかったので結局周辺のごみ拾い活動になってしまった。より綿密な企画と調査の上でリベンジしたい。



# 11 早稲田環境DAY

#ロード主催 #クイズ #展示

2025年6月25～27日 早稲田大学戸山キャンパス

〔背景〕  
環境ロードリゲス主催のイベントに出展した。

〔目的〕  
海洋環境問題やうみさんぽについて知ってもらうことで、環境啓発を行う。

〔内容〕  
水循環モデルのジオラマを作成し、展示した。また、海洋環境問題についてのクイズを出した。学生会館に立ち寄る方々の海洋環境問題に触れる機会になった。



# 12 ビーチクリーンレポート

#学び #データ #一目でわかる #モチベーション

2024年11月～現在

〔背景〕  
野外環境活動の持続可能性における一番の課題は「活動に意味を感じられること」にあると私たちは考えた。そこで、自分たちの活動の記録と可視化をすることで、モチベーションと学びを得られるようになった。

〔目的〕

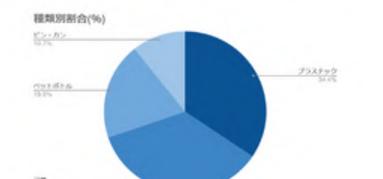
- 拾ったゴミの量を可視化し、メンバーの活動モチベーションの向上につなげる。
- 野外活動を単体で終わらせず、データやその比較から学びを得られるようにする。
- 環境活動そのものに目的を持たせ、持続可能な環境活動につなげる。

〔内容〕  
ビーチクリーンで集めたゴミを独自の分別基準で海岸ごとに記録し、ビーチクリーンレポートを作成した。参加人数や海岸ごとの特徴も含め、その比較から学びを得られ、先の活動にも活かせるものを目指す。



【データ】  
複数海岸データ集

	重量(kg)	割合(%)	1人あたりの重量	時間あたりの重量	1人・時間あたりの重量
プラスチック	8.52	34.41	0.41	0.26	0.26
可燃	8.79	35.54	0.42	0.66	0.31
ペットボトル	4.83	19.51	0.23	3.62	0.17
ビン・カン	2.66	10.74	0.13	2.00	0.10
合計	24.76	100.00	1.16	18.57	0.89



- 【当日の様子】
- ・人少なめ
  - ・風強い
  - ・魚の死骸が多かった
  - ・防波堤にゴミが多かった
  - ・砂浜には細かいゴミが多かった
  - ・プラスチック・レジンベレットが多かった
  - ・家庭ごみが多かった
  - ・稲毛と横見川間でゴミの量に差があった

[12/21(土) 江の島片瀬東]

【概要】  
○日時: 12月21日(土) 14:00~  
○時間: 60分間  
会場: 江の島片瀬東



# 「環境×地域活性」 REC

## 活動理念 Philosophy

RECという名前は「Rediscovery」「Experience」「Communication」の頭文字から来ている。主な活動場所は佐渡であり、絶滅危惧種のトキや、ジオパークとして有名な佐渡島の環境の素晴らしさの再発見を、佐渡旅やボランティア活動を通して行っていくことを活動理念としている。

## 27期代の方針 Policy

今年度は2つの目標を中心に活動した。1つ目の目標は、REC内で完結していた佐渡旅をREC外の人巻き込んで実施することである。今年度の佐渡旅はコロナ以降最多の7人での佐渡旅を行うことができた。現地の方やOBとコミュニケーションをとることと、実際の佐渡の風景を見ることで、初めて佐渡に来た人にとって佐渡の魅力を確認する良い活動となった。反省点としては、RECメンバーが少ないため人員の確保が難しく、活動規模が小さくなってしまったことが挙げられる。2つ目の目標は、佐渡旅以外での活動を増やすことである。RECの活動頻度を増やすことを目的に、浅草での祭りに参加した。そこでは伝統的な東京でのイベントに参加することで新たな地域活性としての活動を見つけることができた。

また、公式Instagramに環境×地域活性についての投稿をすることで、自分自身の地域活性についての理解と他者への地域活性についての学習につなげることができた。今後も佐渡、佐渡以外での活動を増やし、地域の魅力を発信していこうと思う。

## 活動概要 Overview

外部向けに「佐渡旅」を企画し、直接佐渡島に足を運んでもらうことで、佐渡島の魅力や自然を体験してもらう。また、現地の人々と直接コミュニケーションをとり関係を深めることによって継続的な佐渡への訪問と活動により具体的なものにし、再発見し、地域活性について考える機会を提供する。

## 28期代の展望 Future Outlook

今後の展望としては、夏休み中の外部向けの佐渡旅の実施に向けて、春から計画づくりに着手したいと考えている。今後、他大学との佐渡での交流をする可能性があるということで、多団体との新たな活動機会を考えている。RECメンバーと佐渡旅参加者に向けて、佐渡島について学ぶ機会をさらに確保していくことも目標としている。また、冬の期間の活動についても、オンラインで佐渡島の人々と交流の機会を設けるなど、佐渡島と繋がりを保ち地域活性について考える機会を確保していこうと考えている。今後は活動頻度を増やし、RECに所属していない人を巻き込むことでRECが行う活動の規模を大きくすることを目標としていく。



# 1

## 岩首昇竜棚田訪問

#棚田 #環境 #再発見

2025年9月7日 新潟県佐渡市 岩首昇竜棚田

### [背景]

佐渡において棚田は大きな面積を占めている。佐渡に住む人々にとって稲作は重要な収入源であり、棚田の存続は必要不可欠であるため、存続させていかなければならない。また、絶滅危惧種であるトキは棚田に生息する虫などを捕食するため、トキにとっても非常に重要な役割を担っている。

### [目的]

棚田に実際に訪れることで、その棚田を扱っている人々の実際の意見を聞くことができ、棚田を保全する必要性やその景観を守る理由を見出すことができる。また、佐渡を訪れたことのない参加者が多いこともあり、佐渡の魅力を肌で実感し、再発見していくことを目的とした。



### [内容]

実際に訪れた岩首昇竜棚田では、悪天候に見舞われたものの現地の方のお話を詳しく聞くことができた。また、今回お世話になった大石さんはコロナ前にかつて環境ロドリゲスと交流があり、その当時のRECの活動内容についてもお話を聞くことができた。

実際に棚田の最上部に行き、そこからの眺めや環境を体感した。そこでは草刈り体験をさせていただいた。短い時間ではあったものの、棚田を存続させていくためにRECが今後どのようなことを活動としてやっていくべきか、現地の方が今外部の人々に求めているものはどのようなものかなど、現地でしか聞けない、体感できない体験をさせていただいた。



## 2

# 平沢海岸清掃

#海岸清掃 #佐渡 #海岸



2025年9月8日



新潟県佐渡市

### [背景]

佐渡は島であるため、多くの海岸と海水浴場がある。そのため、海岸清掃をすることでそれぞれのようなゴミによる違いがあるのか実際に清掃をすることで発見を見出すことを背景とする。

### [目的]

佐渡は海外からのごみが非常に多く漂流してくるため、多くの海岸清掃ボランティア活動が必要になる。そこで自分たちが参加し、ごみ拾いをしていく中で佐渡のごみ問題について知ることを目的とした。



### [内容]

清掃をすることで佐渡の海岸のごみの多さやその漂流したゴミからその問題について知ることができた。今回は1時間ほどの清掃になったが、今後サンプルを持ち帰るなどして漂着物について学ぶことができると考えている。



## 3

# トキの森公園

#トキ #絶滅危惧 #環境保全



2025年9月8日



新潟県佐渡市

### [背景]

トキは絶滅危惧種であることは多くの人を知っていると思われる。しかし実際にどのような背景でそこまで追いやられてしまったのか知っている人は少ないはずだろう。

### [目的]

実際に野生のトキを見ることは難易度が高いため、今回は飼育されているトキを見れる施設を利用することで実物のトキを観察し、日本の絶滅危惧種に対する知見を増やすことを目的とした。



### [内容]

今回の佐渡旅に参加したメンバーもトキについて詳しく知っている人は多くなかった。日本のトキが絶滅した後、中国によって譲渡され、再び繁殖を遂げたトキをこれから守っていかねばならないと強く感じた施設だった。





# 「環境 × 商品開発」 Re-Cover

## 活動理念 Philosophy

廃材・端材を活かした商品の開発・製作・販売やワークショップを行い、再利用への理解と実践を広げる。これにより、資源がめぐる社会づくりに貢献する。背景には、SDGs目標12「つくる責任・つかう責任」を掲げている。

## 27期代の方針 Policy

- (1) 環境負荷の高い商品の購入を減らすといった、環境改善を目的として商品を開発する。
- (2) 売れ行きが伸びない商品は、品質や売り場の見せ方を工夫し改善を図る。
- (3) ワークショップは、参加者が日常でも実践できる内容とし、効果の拡大を目指す。
- (4) 原則毎月の出展を目標とし、売上よりも環境改善を最優先に活動する。

## 活動概要 Overview

廃材や端材から新たな価値を創る活動である。横断幕からブックカバー、カスタネット端材から箸置き、鮭の鱗や海洋プラからアクセサリー等を製作している。イベントでの販売やワークショップ開催、出張授業を通じ、楽しみながら資源循環型社会の実現を目指している。

## 28期代の展望 Future Outlook

28期代の活動方針は、活動理念である「環境問題の改善」に基づき、『本当に環境に優しい商品開発を行うこと』を目標とする。

具体的な目標として、『試験期間を除く毎月の出展の実施』と『メンバー全員が楽しみながら参加できる活動』の2点を掲げる。

当サークルの活動テーマは「商品開発」であるため、開発した商品を実際に販売・発表する機会を設けることが、活動の意義を高める上で不可欠である。そのため、定期的な出展を通じて社会との接点を持ち、環境に配慮したものづくりの実践と発信を行う。

また、サークルとしての特性を踏まえ、メンバー間交流や活動を楽しむ姿勢も重視し、交流会開催や協同的な活動を目指していく。



1

## 稲門祭

#廃油キャンドル

📅 2024年10月20日 📍 早稲田大学早稲田キャンパス

### 〔背景〕

サークルでエコステーションを担当しているご縁で、出店場所をご提供いただいた。

### 〔目的〕

廃材活用の意義を商品販売で広く伝える。

### 〔内容〕

早稲田大学早稲田キャンパスにて、廃油キャンドルなどの商品販売を行った。当日の売上は7,300円であった。



2

## 理工展

#古着スマホ用ショルダーバッグ

📅 2024年11月2日 📍 早稲田大学西早稲田キャンパス

### 〔背景〕

過去にも出店経験があり、継続参加した。

〔目的〕 実験教室など目的とした親子へ向けワークショップでもアプローチする。

### 〔内容〕

西早稲田キャンパスで商品販売を実施。鮭の鱗・ペットボトルキャップを使ったストラップのワークショップも行った。売上は26,300円であった。



3

## 早稲田祭

#カスタネット端木材にお絵描き

📅 2024年11月3日 📍 早稲田大学早稲田キャンパス

### 〔背景〕

2023年に続き、早稲田祭に出店した。

### 〔目的〕

理工展と同様に廃材・端材の活用を、商品販売とワークショップで広く伝える。

### 〔内容〕

鮭の鱗やペットボトルキャップを使ったストラップのワークショップを実施。カスタネット端材にお絵描きなどをしてもらうワークショップも行った。売上は34700円であった。



4

## IRODORI マルシェ

#ハギレくるみボタン

📅 2024年11月23日 📍 IKE・SUNPARK

### 〔背景〕

メンバーの紹介でおすすめのマルシェに参加した。

〔目的〕 ワークショップを通じ、様々な世代の方へ廃材活用の意義を伝える。

### 〔内容〕

廃布を使用したくるみボタンのワークショップを行った。当日の売上は600円であった。



5

## Glad marche

#ペットボトルキャップストラップ

2024年12月22日

味の素スタジアム  
ペDESTリアンデッキ

〔背景〕 出店先の幅を広げようと探した結果見つけた。

〔目的〕 大規模なフリーマーケットに出店することで多くの方に廃材活用を伝える。

〔内容〕 鮭の鱗や新たにペットボトルキャップを使ったレジストラップのワークショップを行った。売上は0円であった。



6

しんじゆく  
こどもまつり

#鮭の鱗カプセルトイ

2025/3/9,5/18

AGFフィールド  
新宿中央公園

〔背景〕 お世話になっているクリアソン新宿のイベントに出店。

〔目的〕 廃材・端材の活用を、子供をターゲットとして伝える

〔内容〕 3月は商品販売を実施し、売上は900円であった。5月は、廃布でくるみボタン（ヘアゴム・ピン）を作るワークショップやお絵描きイベントを開催。あわせて廃材ストラップのカプセルトイも販売し、売上は7,520円であった。



7

## みんなの夢AWARD

#シー陶器ストラップ

2025年3月13日

LINE CUBE SHIBUYA

〔背景〕 学生団体連携の一環で出展の招待をいただいた。

〔目的〕 ビジネスコンテスト参加者へのアプローチ。

〔内容〕 PPWと共同で商品販売を行った。売上は900円であった。



8

## アースデイ東京

#廃横断幕ブックカバー

2025/4/19-20

代々木公園イベント広場

〔背景〕 アースデイ東京2025に、出展の機会をいただいた。

〔目的〕 廃材・端材の活用を、2日間にわたって商品販売とワークショップで広く伝える。

〔内容〕 鮭の鱗やカスタネットの端材を使った生き物オブジェストラップ、鮭の鱗やペットボトルキャップのストラップのワークショップを実施。売上は30,900円であった。



9

## あきる野 環境フェスティバル

#コルク使用ディスプレイボード

 2025年5月10日

 秋留台公園

〔背景〕 出店可能な環境イベントを探し、条件が合致し参加した。

〔目的〕 環境に関心のある方へ向け、廃材の活用方法を伝える。

〔内容〕

商品販売に加え、廃材ストラップのワークショップも行った。商品販売では展示の仕方を工夫した。売上は11,850円であった。



10

## わくわく！ 環境探求隊

#ペットボトルランタン

 2025年8月24日

 新宿中央図書館

〔背景〕 ネオキャリアさんより「再利用博士」をご依頼いただいた。

〔目的〕 5Rの知識と廃材・端材の活用法を伝えた。

〔内容〕

3R(5R)についての授業を実施。また、ペットボトル・ターポリン・反射板を使ったランタン作りのワークショップも行った。



11

## プロジェクト西新宿

#出張授業 #ワークショップ  
#資源循環型社会
 2025年9月24日

 西新宿小学校

〔背景〕 依頼をいただき、産学連携で再資源化に関する授業を実施することになった。

〔目的〕 5Rによる正しい選択や廃材・端材の使用について知ってもらうこと。

〔内容〕

西新宿小学校の子ども達に向け、再資源化についての授業と、鮭の鱗・ペットボトルキャップ・海洋プラスチック・商品化珊瑚の端材を使ったストラップのワークショップを行った。



12

## 冬合宿

#長野 #アップサイクル #伝統工芸

 2025/2/20-22

 長野

〔背景〕 合宿の特性を活かし、遠方での学びを企画した。

〔目的〕 プロの技術や再生素材の活用法を学ぶ。

〔内容〕

小岩井紬工房で手織り体験と伝統工芸の現状を学ぶ。ReBuilding Center JAPANでアップサイクルを視察。陶芸体験や松本城、諏訪湖観光も行った。



## 13

## 夏合宿

#山形 #福島 #伝統工芸 #体験

2025/8/1-3

福島・山形

〔背景〕合宿の特性を活かし、遠方での学びと交流を企画した。

〔目的〕伝統工芸を体験し、1年生をふくめたメンバー間の交流を深める。

〔内容〕

福島・山形を訪問。天童タワーで書き駒体験、月山めのうアクセサリ体験、和紙漉き体験を行った。最上川花火大会や蔵王のスライダー、猪苗代湖観光も楽しんだ。



## 14

## 交流会,勉強会

#フィールドワーク #ドライブ

2024/12/1  
2025/6/8,9/28

高田馬場,町田,館山

〔背景〕メンバー間の交流を深める機会が欲しかった。

〔目的〕メンバー同士の交流を深め、知見を広げるため。また、廃材を集めるため。

〔内容〕12月はゲームとタコパを開催。6月は店舗で商品の見せ方・売り方を学び、交流会としてショッピングも楽しんだ。9月は北条海岸でシーグラスやシー陶器を拾い、千葉県南部の観光も満喫した。



## 15

GALYEAさんなど  
とのコラボ

#擬似水生生物オブジェ#廃プラ溶接

2025/3/24,3/26,  
5/7,6/7

Zoom及び群馬のスペース訪問

〔背景〕メンバー紹介で、前橋のコミュニティスペース「GALYEA」運営の方とつながった。

〔目的〕コラボ推進で活動の幅を広げるため。また商品・WS開発用の廃材を集めるため。

〔内容〕他企画とのコラボMTGやイベントを実施。Zoom及び群馬のスペース訪問でMTGを実施。伊勢崎銘仙のはぎれを頂き、それを使ったくるみボタンをGALYEA側で販売する連携を決定した。



## 16

## ミーティング

#ものづくり #新商品開発

毎週水曜日

学生会館,WASEDAものづくり工房  
Learning Commons 61

〔背景〕イベント出店などを続けるうえで不可欠なため。

〔目的〕商品やワークショップの開発、出店準備を行うため。

〔内容〕コルク人形、ターポリン筆箱、鱗の散らし絵、シーグラスマグネット、カスタネット端材のモバイルを試作（開発中）。新商品やワークショップの開発を多数進めた。





# 「環境×キャリア」 えこねくすと

## 活動理念 Philosophy

「環境×キャリア」をテーマに掲げる企画「えこねくすと」では、環境分野で活躍する社会人へのインタビューやSNSでの情報発信を通じて、学生や若者が環境に関わるキャリアを描けるよう支援することを目的としている。

## 27期代の方針 Policy

27期では、記事制作とSNS発信を班に分けず、全員で協力しながら一体的に進めた。取材から発信までを一つの流れとして取り組むことで、より一貫性のある情報発信を目指した。また、各メンバーが自分の興味関心を大切に、環境に関わる多様なキャリアを持つ方々へのインタビューを行った。実際にその道で活躍する方々の想いや働き方に触れることで、環境分野でのキャリア形成についての理解を深め、学生や若者が自分らしい進路を考えるきっかけを発信した。

## 活動概要 Overview

環境分野で働く方への取材を行い、取材先の選定からアポイント、インタビュー、記事執筆まで一貫して担当した。環境問題や仕事への思いを丁寧にまとめ、内容をわかりやすく誰もが、「読みやすい」を意識し、キャリアを身近に感じられる記事を制作した。

## 28期代の展望 Future Outlook

28期では、「えこねくすと」をいったん休止するという決断をした。その理由として、記事執筆に関わるメンバーの確保が難しかったこと、記事制作のみの活動では発信の幅に限界があったことが挙げられる。存続も検討したが、無理に続けるのではなく、一度立ち止まり、これまで築いてきた媒体や経験をより柔軟な形で活かす道を選んだ。今後は、環境ロドリゲスの活動の中で、ゲストを招いて話を聞いたり、メンバー同士で学び合う「勉強会」を行ったりする際に、えこねくすとの媒体を活用できるようにしていきたいと考えている。この休止は終わりではなく、活動の形を見直すための一歩として、環境問題への関心を広げる新しい方法を模索していくきっかけにしたい。



# 1

## 再エネスタートアップ起業家(取材)

#起業 #再生可能エネルギー

取材相手:河野淳平さん



2025年2月15日



zoomにて

〔背景〕河野さんがロドに対し講演を行うことをきっかけとして、その内容や背景を記事として取り上げたいと考えた。

〔目的〕早稲田大学を卒業し、起業に至るまでの経緯や経験についてお話を伺い、その内容を記事として発信し、環境ロドリゲスのメンバーだけでなく他の学生にとっても将来の選択肢やキャリアの可能性を広げること。



〔内容〕早稲田大学で行われた河野さんの講演をきっかけに、取材を行いました。取材では、再生可能エネルギーの現状や蓄電池事業の課題、今後の展望について語られ、特に「行動しながら考える」姿勢が印象に残った。

取材前には、講演内容をもとに質問項目を整理し、現場のリアルを深掘りする形でお話を伺った。取材後は、学びや感じたことをnoteの記事としてまとめ発信した。



# 2

## 学生同士の環境アクション(取材)

#現役大学生 #サステナブルな未来

取材相手:宮川亮さん



2025年3月10日



zoomにて

〔背景〕メンバーから、同じ学科に所属し学生として活動している方がいると伺い、関心を持った。

〔目的〕同世代の学生の取り組みを知り、学生自身が学生の活動を発信するという、一貫して学生主体の活動を実現したいと考えた。また、学生同士のつながりや刺激を生み出すような活動を広めていくこと。

〔内容〕取材前に質問項目を整理し、活動内容やきっかけ、今後の目標などを中心に伺った。取材では、宮川さんの想いや考えを引き出すことを意識し、同じ学生としての共感を大切に。また、専門的な内容をより多くの学生に伝えられるよう、言葉選びや構成に工夫を凝らし、学生の視点から活動の魅力をわかりやすく発信することを心がけた。



## 3

## 理想の環境キャリアワークショップ

#環境ワークショップ #エコな働き方



2025年5月13日

〔背景〕 初心に立ち返り、自分の関心を見直して、今後取材したい人や環境問題を見つけるきっかけとなるワークショップをしたい。

〔目的〕 楽しみながら自分の興味や強みと環境問題を結びつけ、理想の環境キャリアを具体的に思い描き、将来の行動や発信につなげることを目的とする。



〔内容〕 まず「環境系の仕事」と聞いて思い浮かぶ言葉を自由に書き出し、自分の関心やイメージを整理した。その後、「もし理想の環境キャリアを持てるとしたら？」という問いをもとに、自分がやってみたい仕事や活動を自由に妄想した。最後に、その内容をメンバー内で、共有することで、互いに刺激を受け合いながら環境への関心を広げ、今後の取材や活動のヒントにつなげていった。



## 4

## ミズヒマワリ駆除活動&amp;取材

#初合同企画 #ミズヒマワリ

取材相手:東京釣り協会さん

2025年3月31日  千葉県与田浦

〔背景〕 今回、えこねくすととうみさんぽで初の合同企画を実施した。両団体が協力し、現地での環境保全活動と取材を同時に行うことで、より実践的で深みのある発信を目指した。

〔目的〕 東京釣り協会の方々への取材を通じて地域の環境保全活動への理解を深めるとともに、他企画との連携を図り、記事制作だけでなく実際の屋外活動を通して現場視点から環境問題を発信すること。



〔内容〕 えこねくすととうみさんぽの初の合同企画として、与田浦にてミズヒマワリの駆除活動を行った。外来種による生態系への影響に着目し、東京釣り協会の方々へ取材を実施することで、釣りと環境保全の両立や地域との連携について理解を深めた。この実践的な活動後、noteに記事、instagramにリール動画として投稿した。



## 5

## 早稲田大学の教授が語る（取材）

#早稲田 #森林保全

取材相手:平塚基志 教授



2025年2月26日



Zoom

## [背景]

早稲田大学人間科学部の教授が環境問題に関する研究をされている。

## [目的]

森林環境の変化について、研究者の視点からの考え方と分析について学ぶ。

早稲田大学 人間科学部 教授

人と自然との関わりを考える

教授のキャリア選択と意義④

Vol.9

Human Sciences



## [内容]

自然環境の変化という問題を考えるにあたり、生物だけに目を向けるのではなく、人間と自然との関わりという側面にも目を向けることの重要性を学んだ。世界的な環境問題は、その土地固有の様々な人間の事情と絡み合っており、解決策もひとつではない。多様な状況下で問題に対応していくためには、複数の側面から問題を捉えること、そして単一の最適解に固執せず、多様なアプローチを取る視野の広さを養うことが不可欠であると感じた。

## 6

## 早稲田大学の教授が語る（取材）

#経済 #カーボンプライシング



2025年5月20日

取材相手:有村俊秀 教授

## [背景]

早稲田の教授が環境分野でご活躍されている。

## [目的]

環境問題に対する経済的アプローチを学ぶ。

## [内容]

カーボンプライシングを通じて、環境問題を構造的に解決しようとする考え方を学んだ。また、国際的な潮流や各国の環境意識を知ること、マクロな視点から環境問題を捉える重要性を実感した。



## 7

## 再エネでつなぐ地域と未来

#パラオ #小型EV #地域課題



2025年12月31日

取材相手:吉岡稔さん

## [背景]

メンバーの恩師が環境系キャリアに進まれた。

## [目的]

環境キャリアや海外プロジェクトの様子を学ぶ。

## [内容]

地域課題を“技術×地域資源”で解決し、海外でも「暮らしを豊かにする移動・エネルギー」を実現する事業のリアルを学び、環境を変え、新たな学びと協働に出会う大切さを感じた。





# 「環境×プラスチック」 Precious Plastic Waseda

## 活動理念 Philosophy

プラスチック再生体験で“楽しい環境活動”を。

## 27期代の方針 Policy

「月1回のイベント出展」「他分野との連携」  
「今後に残る活動」を軸に活動を行った。

## 活動概要 Overview

身近なペットボトルキャップやコンタクトレンズケースを回収・洗浄・粉碎・射出成形し、新しい製品を自身の手でつくすることで、楽しみながらリサイクルの仕組みを学べる場をつくっている。ワークショップや展示、企業・自治体との連携を通して、持続可能な社会への意識と行動を広げることを目指す。

## 28期代の展望 Future Outlook

28期代PPは、これまでの「月1、2回のイベント出展」といった活動方針を受け継ぎつつ、「2000人以上の方にイベント出展に参加してもらう」等、新たな方針を掲げる。また、「日常生活で溶け込めるような金型の製作」を目標に、月一回、金型を考案する機会を設ける。さらに、これまでに築いてきた企業や団体とのつながりを大切に、連携をより一層強化することで、活動のインパクトを拡大させていく。より効果的な環境活動の実現のために、積極的に学びを深め、「リサイクルって、実は楽しいんだ」という価値観を広げていきたい。射出機から生まれるリサイクル製品をきっかけに、環境への新しい物語を紡いでいく。

# 1

## 地球を笑顔にする広場

#TBS #テレビ局 #初外部イベント



2024年11月9日



赤坂サカス



### [背景]

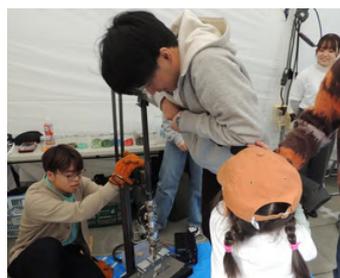
昨年よりTBSからの出展依頼を受けており、今年度はPrecious Plastic Wasedaが単独で担当。立ち上げ後初の外部イベントとして、学生主体の環境活動を社会へ発信する重要な節目となった。

### [目的]

本企画では、初めて初期メンバー以外の学生を公募し、参加を通じてPPを知ってもらう機会を創出。来場者とロドリゲスメンバー双方の交流を通して活動の輪を広げることを目指した。

### [内容]

来場者123人を迎え、開智高校から借用した射出成形機とPP Yokohamaから借用した楯型を活用。再生プラスチックで楯を製作するワークショップを実施し、体験を通じて環境意識を高めた。TBS YouTubeにも掲載される。



# 2

## 環境なんでも見本市

#板橋区主催 #初機械なしワークショップ



2025年2月1-2日



エコポリスセンター



### [背景]

立ち上げ後間もない段階で、板橋区で昔から行われている地域の代表的な環境イベントに出展の機会を得た。早稲田地域外との接点を強め、活動を社会に示す機会としての節目を迎えた場となった。

### [目的]

活動内容や理念を板橋区地域に伝え、環境問題に関心を持ってもらうこと。また、展示と体験を通じて、参加者が循環型社会への意識を深め、持続的繋がりを創ることを目指した。

### [内容]

1日目は作品展示と活動紹介、2日目は廃プラスチックから制作したビーズを使ったブレスレット制作ワークショップを実施。2日間で総勢206名の子どもから大人まで体験し、参加者との交流が積極的に行われた。



# 3

## しんじゅくこどもまつり

#クリアソン新宿 #サッカー #再プラビーズ



2025年3月9日



味の素スタジアム



### [背景]

クリアソン新宿の試合実施地域の子ども向けイベント「しんじゅくこどもまつり」に出展の機会を得た。普段の活動対象とは異なる層と接点を持ち、子どもや保護者層にリサイクルの種を蒔く場とする意図で参加した。

### [目的]

普段アクセスしにくい子ども世代とその保護者に、プラスチック再生の面白さを伝えることで認知を広げることを狙った。また、体験を通じて「自分でもできる」意識を育む契機にする。

### [内容]

我々が作成した再生プラスチック製ビーズでブレスレットアクセサリ制作を実施。素材の由来や加工過程を解説しつつ体験型で提供し、風が強い日ながら89人が参加して環境理解の場を創出した。

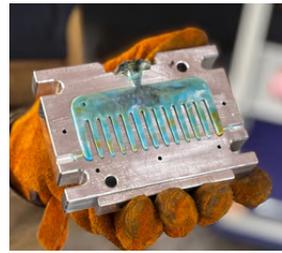


# 4

## アースデイ東京

#Earth Day #Re-Cover共同

2025年4月19-20日 代々木公園



**[背景]**  
代々木公園で2日間開催されるアースデイ東京2025に出展する機会を得た。環境意識の高い来場層へリーチする場として、新たな試みと連携が期待された出展であった。

**[目的]**  
初のドーダーとWの金型を用い射出成形体験を通じ、活動を知ってもらう機会とすること。また、参加者に「リサイクルは楽しい」という実感を持ってもらい、環境行動の入口を提供することを目指した。

**[内容]**  
廃プラスチックから櫛やストラップを射出成形で制作する体験と製品販売を実施。2日間で合計210名の来場者に体験していただき、CO<sub>2</sub>削減量は約3kgと推定された。国内外の参加者にも対応しながら、フィードバックやネットワーク構築も行った。



# 5 みんなの夢AWARD

#ビジネス #ワタミ株式会社

2025年3月13日 LINE CUBE SHIBUYA

**[背景]**  
学生団体連携の一環で出展のご招待をいただいた。

**[目的]**  
ビジネスコンテスト参加者へのアプローチ。

**[内容]**  
射出機を使った櫛ワークショップを実施。参加者が廃プラスチックを加熱・金型へ流して自作櫛を体験。機械トラブルも乗り越えながら7名の参加者に丁寧に対応を行った。



# 6 エシカルキャンパス

#環境サークル大集結 #ミラサス

2025年4月26日 東京国際交流館プラザ平成

**[背景]**  
株式会社ミラサス様よりご招待いただき出展。

**[目的]**  
他大環境サークルに我々の活動を周知させる。

**[内容]**  
約30名が参加し、機械を用いてドーダーとWのキーホルダー制作を射出体験。活動紹介を通じて他大学の環境系サークルと交流し、新たな学びと連携の機会を得た。



# 7

## エコライフフェア MINATO

#港区 #大雨 #初の実行委員

2025年5月17日 港区立有栖川宮記念公園

[背景]  
港区で公募されていた。

[目的]  
市区町村のイベントでの認知拡大と経験。

[内容]  
今イベントより企画長の負担削減のために実行委員制度を導入。射出機の代替モデルの作成や効率的に説明するスライド作成など行い、雨の中でも104名が来場、活動説明を行う。



# 8

## 八王子環境 フェスティバル

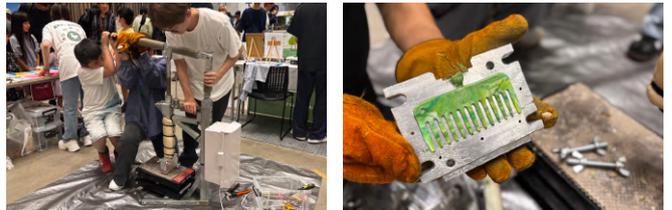
#八王子市 #開智高校

2025年6月15日 東京たま未来メッセ

[背景]  
地域と連携しながら環境意識を高めるため。

[目的]  
再生プラスチックの魅力を経験を通して伝える。

[内容]  
早稲田の学生と開智のメンバーが協働し、櫛とキーホルダーの制作体験を実施。来場者141名が参加し、金型アイデアボードも好評。色設定など工夫を重ね、楽しさと効率を両立した。



# 9

## 文大杉並中学校 出張授業

#初の出張授業 #中学2年生

2025年7月4日 文化学園大学杉並中学校

[背景]  
探求の授業の一環で体験授業を依頼いただいた。

[目的]  
リサイクルの工程について理解してもらう。

[内容]  
初めての出張授業ということで一から授業のデザインを行った。生徒のレベルが高いため薄っぺらい授業にならないよう少しハイレベルな内容を意識して作成を行った。



# 10

## みんなで体験SDGs ～Feel & Pause～

#日立アカデミー #初の企業依頼

2025年7月27日 SHIBUYA QWS

[背景]  
日立アカデミー様より依頼いただいた。

[目的]  
初の企業との産学連携を行い繋がりを作る。

[内容]  
日立グループの関係者に向けてワークショップを実施。約37組94名が参加し、キーホルダー作りと櫛の販売を通じてプラスチック再生の魅力を経験を行った。



11

## 大丸東京店ワークショップ

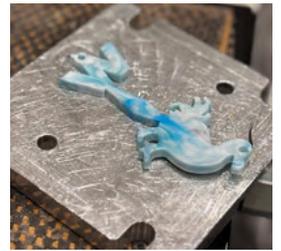
#高知県コラボ #東京駅 #日本一の百貨店



2025年8月9,10,16日



大丸東京店



### [背景]

高知県とのコラボ企画として、大丸東京店でワークショップを開催。高知県の小学生が地元の海で回収した海洋プラスチックを使用し、都会と地域が連携したりサイクル体験を実現した。環境問題を身近に感じてもらう契機となった。

### [目的]

大都会・東京駅直結の大丸東京店という特別な場所で、普段の学園祭や地域イベントとは異なる層にリーチすることを目的とした。高所得層や家族連れなど多様な来場者に対し、環境問題を上質な体験として伝える試みである。

### [内容]

射出成形機を使い、ドードーやW型のキーホルダーを作成する体験を実施した。3日間で212人が参加し、海外からも来場があった。参加者は笑顔でレバーを押し下げ、世界に一つだけの作品を完成させた。交流の輪が広がった。



12

## チャリティーカット

#美容院コラボ #カラーチューブ



2025年8月5日



てくのかわさき

### [背景]

美容師ネットワーク主催の社会貢献企画

### [目的]

理美容関係の方々への認知拡大と循環づくり

### [内容]

理美容院で捨てられるカラーチューブを提供いただき、再生して櫛COMELを作るワークショップを実施。来場者に身近なりサイクルの可能性と循環の魅力を感じてもらった。



13

## 文京思い出横丁

#MEISEIさん #SEEDさん



2025年8月24日



傳通院

### [背景]

MEISEIさんにお誘いいただきコラボ出展

### [目的]

企業との協働出展によるノウハウの共有や交流

### [内容]

MEISEIと合同で射出成形ワークショップを実施。イルカや招き猫の金型を使用し、146人が参加。また、株式会社SEEDさんよりコンタクトレンズケースの廃材を提供いただいた。



# 14

## 愛知 夏合宿

#初合宿 #東浦町



2025年8月21-23日



愛知県

### [背景]

金型制作などで普段よりお世話になっている株式会社MEISEIさんの本拠地である愛知県東浦町に伺い、案内をしていただいた。また、昨年度にこの企画が立ち上がりメンバーが集まってきたため初の合宿を開催する運びになった。

### [目的]

株式会社MEISEIさんとの交流・普段使用している金型の制作現場を見ることでより活動を身近にする。また、金型制作の専門家と話すことで普段触れることはできない刺激を得る。東浦町や愛知県の観光、交流なども目的である。



### [内容]

2泊3日、19人の大所帯で実施。初日は愛知で金型考案ロワイアルを実施、2日目ではMEISEIさんの工場に伺い見学・交流を行い、また東浦町を案内いただいた。3日目ではジブリパークに観光しに行った。



# 15

## 早稲田小学校 出張授業

#小学3年生 #ネオキャリア



2025年9月9日



早稲田小学校

### [背景]

株式会社ネオキャリアさんとの産学連携授業

### [目的]

小学生に向けてリサイクルの楽しさを伝える

### [内容]

小学3年生、3クラス（98人）に3Rをテーマに授業を行った。45分という短い時間の授業をどう皆に射出機を体感してもらうか試行錯誤し、また小学生でもわかるように工夫を行った。



# 16

## むさしのエコreゾート 出張授業

#2度目の小学生授業 #少人数



2025年9月21日



むさしのエコreゾート

### [背景]

NPO法人新宿環境活動ネット様よりのご依頼

### [目的]

小学生への効果的な環境教育を実現させる

### [内容]

小学3年生～6年生の9グループに授業を行った。時間配分・内容ともにより完成度の高い授業となった。参加者が少ない分、一人一人に対応することができ活発に交流できた。



# 17

## GBEF

#オール作業 #コンテスト

2025年8月10日 大阪万博

### [背景]

GBEF (Green Blue Education Forum) は環境省と共催される、身近な体験を通じて考えた「守り残したい環境、創りたい未来」をテーマに発表するフォーラム。審査会社である石坂産業さまからGBEFの参加のお誘いを頂いた。

### [目的]

我々の活動が外部にとってどのような価値を持っていると評価されるのか確認をする。また、活動を言語化する過程を経てメンバーでの知識を深化させ、普段のイベントでその知識を発揮できるようにする。



### [内容]

LCAという多少学術的で難しい内容を子供でも計算方法や考え方、活動内容がわかるように表現に工夫を行い3分の動画にまとめた。結果、ファイナリストとして選定され大阪万博にて紹介・ブース展示の機会を得ました。



# 18

## エコワングランプリ

#新宿区 #初受賞 #コンテスト

2025年2月22日 エコギャラリー新宿

### [背景]

OGにコンテストを紹介いただき応募に至った

### [目的]

地元 新宿地域にどう評価されるのかの確認

### [内容]

活動を初めて4ヶ月で今行っていることと今後やりたいことの言語化を行い資料を提出。結果、「奨励賞」をいただき企画発足以来初の受賞となり社会への評価も確かめることができた



# 19

## NEOアワード

#最優秀賞 #リベンジ成功

2025年8月10日 有楽町マルイ

### [背景]

昨年度、惜しくも受賞を逃したためリベンジ。

### [目的]

1年間の活動の成長を審査員に見てもらうこと

### [内容]

去年から活動の変化・成長をプレゼンし、「最優秀賞」を頂いた。また、賞品としてアースデイ東京の参加権、1週間の有楽町マルイ入口にて常設展示をする権利をいただいた。



# 06 | 全体活動報告

冬

## 全体ミーティング



## 冬合宿



## 稲魂賞受賞



# 春

## 新歓ビラ拾い



## ボランティアカフェ



## 新歓BBQ



## ボランティアコンテスト



## 新歓ハイキング





## 全体ミーティング



## 早慶戦



## 新歓合宿 in 山中湖



## 早稲田環境DAY



初のロド主催のイベントを  
学生会館にて実施



## ロドゼミ



実際にロドリゲス島に行った  
木藤さんからお話を聞きました

## ふるさと祭り





秋

### 全体ミーティング



### 地球感謝祭



### 稲門祭



早稲田校友会主催の稲門祭に出展とエコステーションのお手伝いをしました



### 早稲田祭



規格外バナナを用いたチョコバナナを販売しました

# **DODO vol.40**

---

2025年12月14日 初版第一刷発行

---

著 者 DODO vol.40製作委員会

発行者 環境ロドリゲス

印刷所 ラクスル株式会社

---